

# 液晶表示マネージャー ユーザズマニュアル

外付けケース用  
(HDDケース/リムーバブルケース)

2010年12月 第1.0版

ラトックシステム株式会社  
**RATOC Systems, Inc.**

## 製品概要

### 主な特徴

HDDに記録された内容に関する情報を、ケース前面のメモリ液晶に表示するアプリケーションです。  
パソコンから本製品が取り外された状態でも、メモリ液晶に表示された情報でディスクの内容を確認することができます。  
※複数パーティションには対応していません。先頭のパーティションのみが対象になります。

### 対応OS

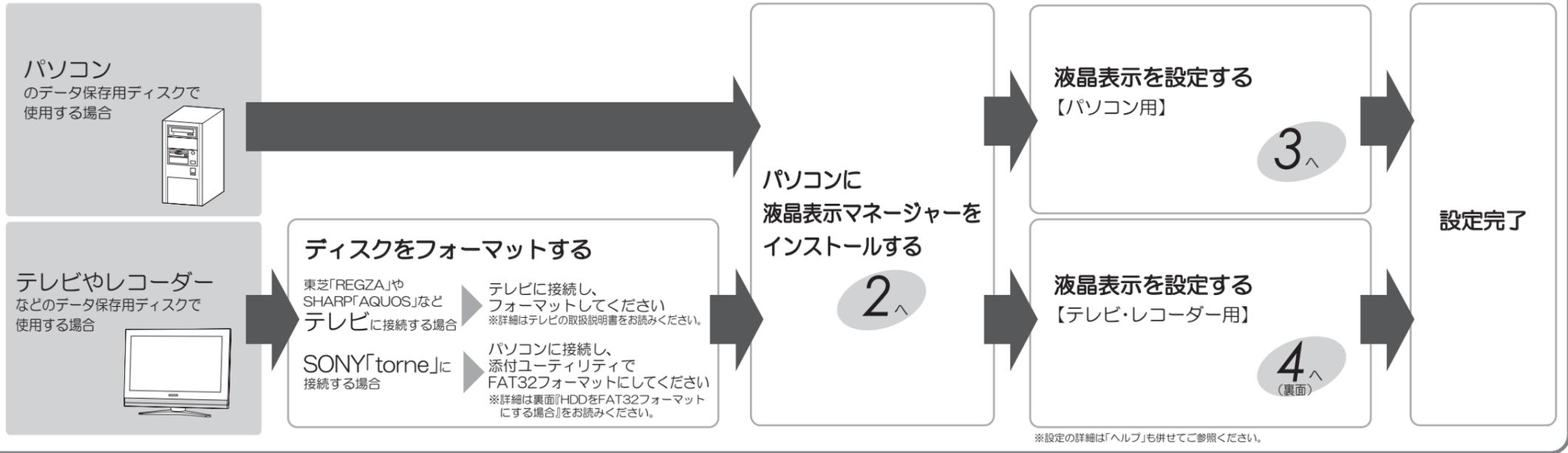
Windows 7/Vista/XP  
※32ビット/64ビット両対応。  
※各OSの最新Service Packがインストールされた状態でご使用ください。

### 対応製品

メモリ液晶を搭載した弊社製外付けHDDケース/リムーバブルケース  
※メモリ液晶付トレイをご使用の場合、リムーバブルケース/外付けHDDケース側も液晶表示に対応している必要があります。

## 1 はじめに

『液晶表示マネージャー』は、パソコンのデータ保存用ディスク、およびテレビ(東芝「REGZA」やSHARP「AQUOS」など)・レコーダー(SONY「torne」)のデータ保存用ディスクに使用できます。用途によって設定手順が異なりますので、必ず下記を参照のうえ設定してください。



## 2 インストール

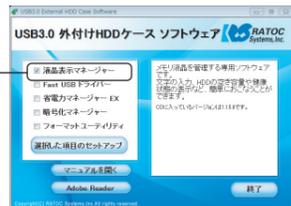
### 2-1 インストール

※インストール前にウイルスチェックのソフトウェアは外してください。セキュリティレベルが高い場合、インストールできない場合があります。

1. パソコンを起動し、添付のCD-ROMをCDドライブに挿入します。

2. メニュー画面が表示されます。

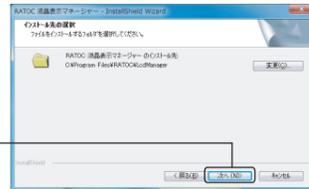
『液晶表示マネージャー』  
にチェックを入れて【選択  
した項目のセットアップ】  
をクリックします。



4. インストール先の選択画面が  
表示されます。

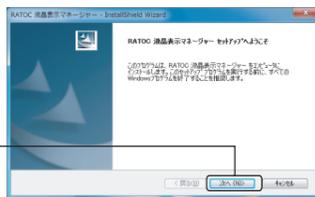
【次へ】を  
クリックします。

インストール先を変更したい場合は【変更】をクリックして任意の  
フォルダを選択してください。



3. “RATOC 液晶表示マネージャー  
セットアップへようこそ”画面が  
表示されます。

【次へ】を  
クリックします。



5. インストールは完了です。

【完了】を  
クリックします。



### 2-2 設定画面を開く

液晶表示マネージャーの起動中は、タスク  
バーに右記のアイコンが表示されます。  
アイコンを右クリックすると、タスクメ  
ニューが表示され、各種設定・操作ができ  
ます。

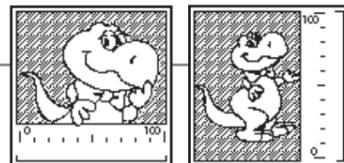


●【液晶表示マネージャー】は常駐ソフトです。



詳しい使用法は、タスクメニュー内の“ヘルプ”を参照してください。

【出荷時の液晶画面】



出荷時の液晶画面は、イラストが表示されています。液晶表示マネージャー  
が起動した状態で使用すると、表示は更新<sup>※</sup>されます。更新された表示を出  
荷時の表示に戻すことはできません。  
※REGZA/AQUOSフォーマット(XFS)の場合、設定画面で【液晶更新】をクリックす  
ると更新されます。

## 3 液晶表示を設定する【パソコン用】

### パソコンのデータ保存ディスクに使う NTFS/exFATフォーマット HDD

リムーバブルケースなどで、パソコンのデータ保存用ディスクの内容を液晶表示  
する場合は、下記の手順で設定してください。

### 3-1 液晶表示画面の説明

【文字情報表示画面】



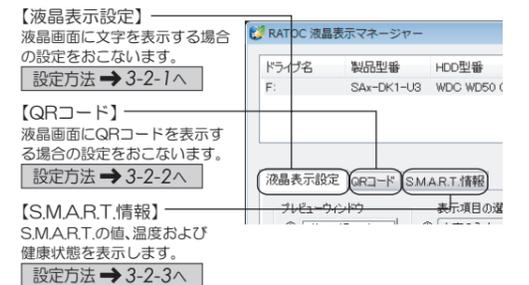
【QRコード表示画面】



※1 「簡易化マネージャー」でハードウェア簡易化されたHDDを接続した場合、表示されます。  
※2 表示は約1分ごとに自動更新されます。

### 3-2 設定方法

タスクメニューから【液晶表示マネージャー】を選択します。



### 3-2-1 液晶画面に文字を表示する場合

※画面はNTFSフォーマットの場合です。※製品型番は製品により異なります。

【液晶表示設定】タブを開きます。

ご使用の環境に合わせて表示を設定してください。



- 【プレビューウィンドウ】 液晶に表示されるイメージを表示。
- 【起動設定】  でOS起動時にこのアプリケーションを実行。
- 【表示項目選択】 液晶に表示する項目を、ドライブ名/ボリューム/  
HDD型番/文字の入力から選択。
- 【データ入力エリア】 全角6文字/半角13文字までの任意の文字を入力。
- 【対応ドライブリスト】 液晶表示に対応したドライブを表示。
- 【ドライブ情報の更新】 上記リストで選択したドライブの情報を更新。
- 【液晶表示の回転】 液晶表示を回転(「右90度」「左90度」「180度」から選択)
- 【プレビュー回転】  で液晶表示の回転角に合わせて、プレビューウィ  
ンドウの表示を回転。
- 【白黒反転】  で液晶表示データの白黒を反転。
- 【HDDの健康状態表示】  でHDDの健康状態を液晶に表示。
- 【液晶更新】 液晶表示の内容をプレビューウィンドウの内容に更新。



3-2-2 液晶画面にQRコードを表示する場合

【QRコード】タブを開きます。



下記の項目は使用環境に合わせて設定してください。

【表示モード】

QRコードの大きさを設定します。セルが大きいほど読み取りやすくなります。セルサイズを小さくすると読み取りにくくなりますが、多くの文字を入力することができます。

【誤り訂正レベル】

QRコードが汚れていたり破損している場合、コード自身でデータを復元する機能のレベルです。誤り訂正レベルを上げると入力文字数は少なくなりますが、汚れや光の反射がある場合にも読み取りやすくなります。

表示モード: 4ドット/セルを選択した場合、誤り訂正レベル: 中  
表示モード: 1ドット/セルを選択した場合、誤り訂正レベル: 最高

QRコードが読み取れない場合は...

環境によりQRコードが読み取れない場合があります。反射/映りこみや、液晶画面の汚れなどの場合は下記の方法を試してください。

反射や映り込みでQRコードが読み取れない。  
⇒添付の低反射フィルムを液晶画面に貼付してください。  
⇒パソコンの設置位置や、照明のあたり方を調整してください。

液晶画面が汚れている。  
⇒液晶画面の汚れを柔らかい布などで拭き取ってください。  
※強く拭かないでください。

- 1 【データ入力エリア】 QRコードに変換するテキストを入力。最大で全角39文字を入力可能。携帯電話のバーコードリーダーを使用する場合は、最大で全角167文字までを推奨。
- 2 【液晶更新】 液晶画面のQRコードをプレビューウィンドウの内容に更新。

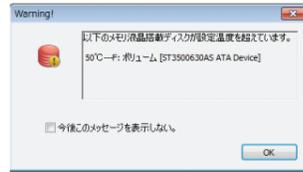
3-2-3 S.M.A.R.T.情報の確認方法

※HDDがS.M.A.R.T.コマンドに対応している必要があります。

【S.M.A.R.T.情報】タブを開きます。



- 1 【警告表示】  で設定した温度\*に達した時に警告を表示。※初期値は50℃です。



- 2 【S.M.A.R.T.情報更新】  でS.M.A.R.T.情報を約1分ごとに自動取得し、HDDの温度情報や液晶画面の健康状態表示を更新。

OSで省電力モード設定(スタンバイ、休止、スリープ等)をしている場合、チェックボックスのチェックを外し、【ドライブ情報の更新】をクリックしてください。自動更新を行うと定期的に液晶表示マネージャーが動作するため、省電力モードに移行できません。

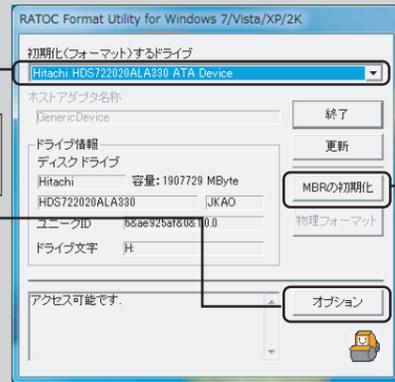
- 1 健康状態: 正常
- 2 HDDの温度: 45°C

HDDをFAT32フォーマットする場合

- 1. 添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入します。
- 2. 【フォーマットユーティリティ】をクリックしてインストールします。
- 3. 【スタート】-【すべてのプログラム】-【RATOC Format Utility】-【RATOC Format Utility】をクリックします。

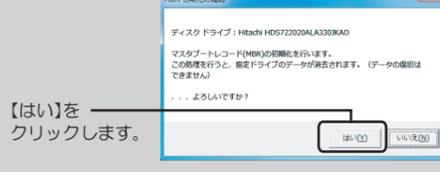
4. 設定画面が表示されます。

- 1 フォーマットするドライブを選択します。
- 2 【オプション】をクリックします。(オプション設定画面が開きます)
- 3 チェックボックスにチェックを入れます。
- 4 【OK】をクリックします。



SONY「torne」に接続してデータ保存ディスクとして使用するためには、HDDをFAT32形式にフォーマットする必要があります。添付の「RATOC フォーマットユーティリティ」でフォーマットしてください。

- 5. 【MBRの初期化】をクリックすると、確認画面が表示されます。(複数回表示されます)



- 6. フォーマットを開始します。
- 7. 完了画面が表示されます。



フォーマットが完了しました。

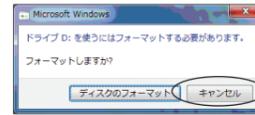


テレビやレコーダーの録画データ保存に使う

REGZA/AQUOSフォーマット(XFS)・FAT32フォーマット HDD

外付けHDDケースなどで、東芝「REGZA」やSHARP「AQUOS」、SONY「torne」などのデータ保存用HDDの内容を液晶表示する場合は、下記の手順で設定してください。

- 1 フォーマットするとデータは消去されます。キャンセルしてください。



REGZA/AQUOSフォーマットされたHDDをWindows PCに接続すると上記のメッセージが表示されます。フォーマットをおこなわず、キャンセルしてください。

【REGZA/AQUOSフォーマットのHDDについて】

※REGZA/AQUOSなどでフォーマットしたHDDは、パソコンからの読み書きはできませんが、液晶表示マネージャーでのメモリ液晶への表示操作は可能です。※REGZA/AQUOSフォーマットのHDDは、最初に液晶表示マネージャーで情報入力したパソコンからのみ表示を更新できます。それ以外のパソコンに接続した場合、液晶表示マネージャーがインストールされていても、表示の読み込みや更新はできません。

【HDDのフォーマットについて】

HDDは、環境に適した形式でフォーマットしてご使用ください。フォーマットについてはテレビの取扱説明書をご参照ください。FAT32形式でフォーマットが必要な場合は添付のフォーマットユーティリティを使用ください。

※テレビレコーダーに接続する場合、暗号化ディスクは使用できません。

4-1 液晶表示画面の説明

【文字情報表示画面】



(例: SAM-DK1-U3)

テキスト表示エリア

HDD空き容量/全容量

HDD空き容量レベルメータ  
空き容量を10段階のレベルメータで表示。テレビ/レコーダー接続時は約1分ごとに自動更新されます。

HDD空き容量レベルメータの表示位置は固定となります。回転表示をおこなっても位置は変わりません。



(例: RS-EC3M-U3)

- ※製品により表示が異なる場合があります。※テレビやレコーダーに接続しているときは、HDD空き容量レベルメータのみ更新されます。以下の項目は表示されますが、更新はされません。
  - テキスト表示エリア
  - HDD空き容量/全容量
  - HDDの健康状態(表示の有無は選択できます)

4-2 設定方法

タスクメニューから【液晶表示マネージャー】を選択します。



フォーマット形式	接続先	QRコード	S.M.A.R.T.情報
REGZA/AQUOSフォーマット(XFS)	テレビ	表示不可	表示のみ可能
	パソコン	表示不可	表示可能/更新可能 ※確認方法は(3-2-3)、表示方法は(4-2-1)をご参照ください。
FAT32フォーマット	torne	表示のみ可能	表示のみ可能
	パソコン	表示可能/更新可能 ※(3-2-2)をご参照ください。	表示可能/更新可能 ※確認方法は(3-2-3)、表示方法は(4-2-1)をご参照ください。

4-2-1 液晶画面に文字を表示する場合

※画面はREGZA/AQUOSフォーマットの場合です。※製品型番は製品により異なります。

【液晶表示設定】タブを開きます。

ご使用の環境に合わせて表示を設定してください。



- 1 【プレビューウィンドウ】 液晶に表示されるイメージを表示。
- 2 【起動設定】  でOS起動時にこのアプリケーションを実行。
- 3 【表示項目選択】 REGZA/AQUOSフォーマットの場合: 「文字の入力」のみ。FAT32フォーマットの場合: 液晶に表示する項目を、ドライブ名/ボリューム/HDD型番/文字の入力から選択。
- 4 【データ入力エリア】 全角5文字/半角11文字×5行、または、全角6文字/半角13文字×4行までの任意の文字を入力。※製品により表示できる文字数/行数は異なります。
- 5 【対応ドライブリスト】 液晶表示に対応したドライブを表示。
- 6 【ドライブ情報の更新】 上記リストで選択したドライブの情報を更新。
- 7 【液晶表示の回転】 液晶表示を回転(「右90度」「左90度」「180度」)から選択。※回転した場合、製品により表示できる文字数/行数は異なります。
- 8 【プレビュー回転】  で液晶表示の回転角に合わせて、プレビューウィンドウの表示を回転。※HDD空き容量レベルメータは回転しません。
- 9 【白黒反転】  で液晶表示データの白黒を反転。
- 10 【HDDの健康状態表示】  でHDDの健康状態を液晶に表示。※テレビやレコーダーに接続しているときは、健康状態の表示は更新されません。
- 11 【液晶更新】 液晶表示の内容をプレビューウィンドウの内容に更新。